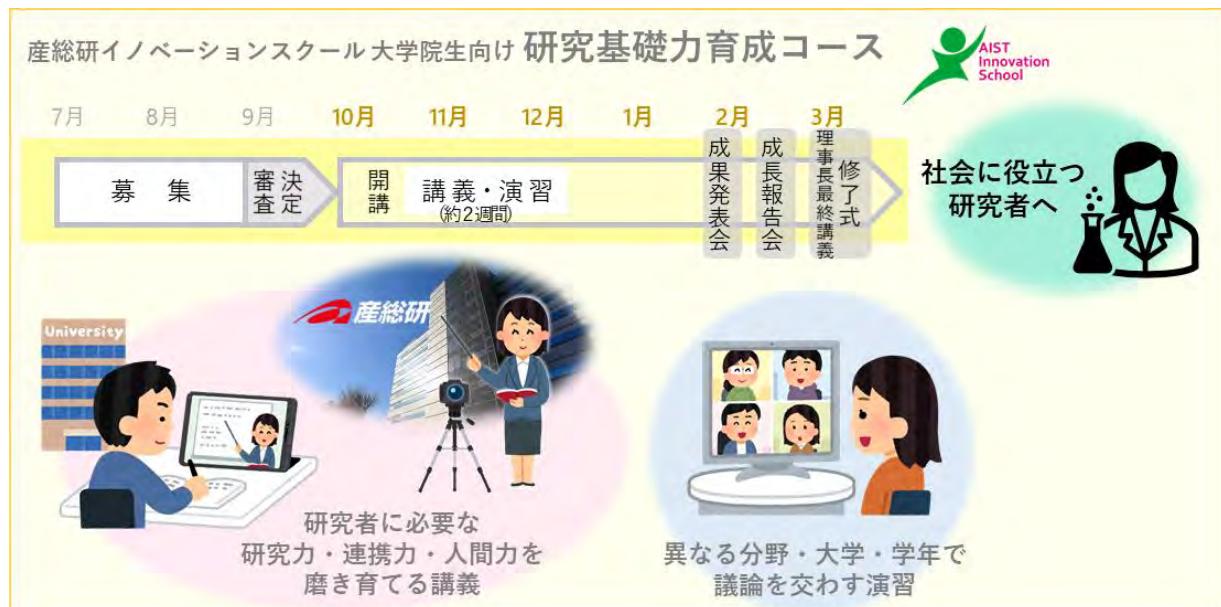


## 2022年度 産総研イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 受講生（博士・修士課程大学院生）の募集

産総研イノベーションスクールは、専門分野についての深い知見を有しつつ、より広い視野を持ち、豊かな創造性や協調性を有する若手研究者の育成を目的としています。毎年度10月に開講する「研究基礎力育成コース」は、大学院生を対象とした半年間（10月～3月）の人材育成コースです。

将来、研究者として自立するためのスキルを磨くことを目的として、独自の講義・演習を行います。プレゼンテーション及びコミュニケーション技術、論文・申請書作成方法、キャリアデザイン等に関する講義・演習を通じて、**専門分野の枠を越えて産学官で活躍する創造性豊かな研究者としての基礎力を**身に付けます。産総研内外の講師による講義、専門分野の異なるスクール生同士による演習、先輩との交流会等を通し、**自己の再発見、キャリアプランの構築、人的ネットワーク作り**をサポートします。今年度も、昨年度に引き続き講義・演習をオンラインで開催します。

大学院生の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。



# 2022年度 イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 募集要項

カリキュラム	<p>【日程】(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10月24日(月)～28日(金)：開講式、第1回講義・演習</li><li>・11月21日(月)～25日(金)：第2回講義・演習</li><li>・2023年1月下旬：外部研究成果発表会 (SATテクノロジー・ショーケース)</li><li>・2023年3月上旬：成長報告会、修了式</li></ul> <p>【開催形式】オンライン (Microsoft Teams または Zoom) *</p> <p>【講義・演習内容】別紙参照</p> <p>*外部研究成果発表会の開催形式は主催者によります (詳細検討中)。</p>
応募条件	<ul style="list-style-type: none"><li>・博士または修士課程の大学院生であること (6年制大学の5、6年次を含む)</li><li>・原則として全ての講義・演習及び行事に参加できること*</li><li>・日本語での講義・演習・レポート作成に支障がないこと</li></ul> <p>*外部研究成果発表会の参加については詳細検討中です。</p>
提出書類	<p>以下の書類をイノベーションスクールホームページよりダウンロードして利用すること (使用言語：日本語)。</p> <p>[Microsoft Word ファイルで提出]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 履歴書</li><li>② 自己アピール票</li><li>③ 特定類型該当性に関する申告書</li></ul> <p>[自筆署名しスキャンデータを提出]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>④ 産総研受入責任者の承諾書</li><li>⑤ 所属大学の指導教員の承諾書</li><li>⑥ 誓約書</li><li>⑦ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書 (合否と関係なし)</li></ul> <p>*産総研技術研修員 (リサーチアシスタント、連携大学院生等) として現在産総研IDを有している方は応募書類に必ず記載してください。</p> <p>*③及び⑤は、所属大学の指導教員に記載をお願いし準備してください。</p> <p>*応募に際して頂いた個人情報については、選考及びイノベーションスクールの運営に必要な範囲内でのみ利用し、応募者の同意なく他の目的での利用は行いません。</p> <p>*応募時に提出ができない書類がある場合には事務局にお申し出ください。</p> <p><b>必要書類フローチャート</b></p> <p><b>Yes</b></p> <p>現在、産総研で技術研修員 (リサーチアシスタント、連携大学院生等) となっている</p> <p>書類①②④⑤⑥⑦をご準備のうえ 応募サイトよりご応募ください</p> <p><b>No</b></p> <p>書類①②③⑤⑥⑦をご準備のうえ、応募サイトよりご応募ください*</p> <p>*特定の産総研研究者 (受入責任者) の元で技術研修を希望される場合は、別途事務局までお早めにご連絡ください。 (ご希望に添えない場合もございます。)</p>

応募方法	応募サイトより応募すること。 *応募サイトの専用フォームに入力後、事務局よりメールで応募書類の提出方法（弊所ファイル転送サービスを利用）について連絡します。3営業日以内にメールが届かない場合は事務局にお問い合わせください（8/11～8/19は除く）。
応募 締め切り	<p>応募：9月5日（月）14:00締切 書類提出：9月7日（水）14:00締切</p> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>応募（専用フォーム入力）</b>  <a href="https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html" style="color: white;">https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html</a> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="background-color: #F08040; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>事務局受付 応募書類提出方法の連絡*</b> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <b>応募書類の提出（①～⑦）</b> </div> <div style="text-align: right; color: #0070C0; margin-top: 10px;"> <b>9/7（水）14:00締切</b> </div> <div style="text-align: right; color: #0070C0; margin-top: 20px;"> *個人情報保護の観点から、 弊所のファイル転送サービスを利用します </div>
選考方法	書類審査（必要に応じて面接を実施する場合有り）
結果通知	9月中旬以降メールにて順次通知（合否に関する個別の問い合わせには回答不可）
応募先・ 問合せ先	<p>〒305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第1事業所 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくば本部・情報技術共同研究棟9階 イノベーションスクール事務局（募集担当） メール：<a href="mailto:school-saiyou-ml@aist.go.jp">school-saiyou-ml@aist.go.jp</a> 応募サイト：<a href="https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html">https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html</a></p>

**[別紙] イノベーションスクール 研究基礎力育成コース 講義・演習内容  
(2021年度のカリキュラムの例)**

**講義・演習**

人間力を磨く	
マナーコミュニケーション研修	ビジネスを円滑に進める上で必要である各種作法を、実践形式で学ぶ。
プレゼン塾	異分野コミュニケーションに必要なプレゼンテーション方法について学び、自身の発表について講評を受ける。
コーチングとその活用法	持続的な学びとその定着化のためのコーチングのスキル、及び、異分野間での連携力を高めるためのスキルを身に着ける。
キャリア開発演習	自己診断テストから自身の性格やキャリア形成に必要な事柄を客観的に把握し、今後の職業選択のための指針を得る。
研究者倫理	研究者が守るべき規範や研究不正行為の事例等について学び、研究者が一般社会の中で置かれた立場と役割を理解する。
連携力を学ぶ	
社会で求められる力	企業などでの実践例を紹介しながら、社会の中で活動していく上で求められる力を理解していく。
企業・業界を知るために	国内企業・業界の構造や特徴を理解し、就職先調査のための重要なポイントを学び、今後の職業選択のための指針を得る。
大学院生のキャリアデザイン	民間企業が大学院生に求める資質について理解し、今後の就業先選択の際の指針とする。
イノベーティブなプロジェクトの作り方	多様な人々と対話・協働しながらプロジェクト化していく方法をグループワーク形式で体感的に学ぶ。
スクール生交流会	分野・大学・年次の異なるスクール生同士で、テーマを決めて交流し、今後の研究生活に役立つ繋がりを形成する。
研究力を育む	
考える力の鍛え方	大学院生や研究者に必要とされる考える力・創造力について、それらは何なのか、どのように鍛えられるのかを学ぶ
研究論文とは何か	研究論文はどうあるべきか・どう書くべきかについて、産総研を代表する研究者より、経験を踏まえて紹介する。
トップジャーナルに投稿する際の論文作成法	学術雑誌の査読から掲載までの手続きを学ぶ。また、学術雑誌に論文を投稿する際の傾向と対策を、演習を交えて学ぶ。
研究費を獲得するということ	学振特別研究員への応募を例にとり、競争的研究費の申請の仕方、申請書の書き方を学ぶ。
産総研の研究紹介	産総研を代表する研究者より、大学院生に向けて研究の取り組みや成果等について紹介する。(数件)

**行事** 開講式、ポスドク生・修了生とのオンライン交流会、外部研究成果発表会 (SAT テクノロジー・ショーケース)、成長報告会、修了式 (及び理事長最終講義)

## ①履歴書

ふりがな			性別		<p><b>写真貼付け</b></p> <p>・3ヶ月以内に撮影したもの ・正面、無帽、無背景であること</p>
氏名			国籍		
生年月日	(西暦) 年 月 日 生(満 才) 2022年10月1日時点		国籍		
現住所	(現住所) 〒				
	(電話) (携帯電話)				
Email	(連絡先) 〒				
	(電話)				
<p><b>学歴</b> (学科・専攻まで記入)</p> <p>行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)</p>	(高校)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒業	
	(大学)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒, 卒見, 中退	
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退	
	(大学・大学院等)		(西暦) 年 月 入学	(西暦) 年 月 卒・修, 卒・修見, 中退	
<p><b>職歴</b> その他</p> <p>行不足の場合 備考または別紙 (様式自由)</p>	期 間		勤務先・所属・職名		
	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
※産総研での勤務歴がある場合はすべて記入のこと。例: 産総研〇〇研究センター第二号契約職員(テクニカルスタッフ)、産総研〇〇研究センター第七号契約職員(リサーチアシスタント; RA)					
これまでに取り組んだ研究テーマ					
主な専門分野	(キーワード5つ程度)				
資格免許	(日本語能力資格等を含む)	賞罰			
趣味娯楽		健康状況			
配偶者	有・無 (扶養義務 有・無) ※記載は任意です	扶養親族 (配偶者除く)	子 人 / その他 人		
備考					

Word形式のまま送付のこと。枠の高さを適宜調整し、1ページに収めること。

## ②自己アピール票

フリガナ:

氏名:

年齢: 歳 (2022 年 10 月 1 日時点)

所属ユニット(現在産総研技術研修員の方のみ) :

Word 形式のまま送付のこと。枠の高さを適宜調整し、1 ページに収めること。

これまでの研究活動及び自己アピール(図面やグラフの使用可)

抱負・将来ビジョン

## 特定類型該当性に関する申告書 書式 (1/2)

**【注意】「特定類型該当性に関する申告書提出のお願い」をご一読後、ご記入ください。**

輸出管理様式 3

(技術研修員用)

### 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための 特定類型該当性に関する申告書

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 御中

西暦：入力年月日を選択してください。

所属：所属機関の名称及び所属部署の名称をご記載ください。

(大学等の指導教官等) 役職：指導教官等の役職をご記載ください。

(大学等の指導教官等) 氏名：指導教官等のご氏名をフルネームでご記載ください。

(学生) 氏名：学生のご氏名をフルネームでご記載ください。

本学は、貴法人が「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び外国為替令第17条第2項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成4年12月21日付け4賀局第492号。以下「役務通達」という。）の1（3）サ①、②又は③に該当する居住者に対して技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法（以下「外為法」という。）第25条第1項及び第2項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、貴法人の法令遵守のため、本学生が役務通達の1（3）サ①、②又は③に該当する可能性があるか否かについて、下記のとおり申告いたします。

#### 記

本学生は、貴法人での受入開始の時点において、

以下に記載の類型に該当する可能性があります。  
( 類型①に該当     類型②に該当     類型③に該当) ※複数選択可能  
(外国法人等や外国政府等の名称 及び 該当する理由)

外国法人等名：外国法人等の名称をご記載ください。

該当する理由：該当する理由をご記載ください。

例：上記の外国法人等から年間所得のうち25%以上を占める  
資金提供を受けていたため。

以下に記載の類型のいずれにも該当する可能性はありません。

なお、今後、以下類型に該当することとなった場合は、改めて申告いたします。

## 特定類型該当性に関する申告書 書式 (2/2)

類型① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者

類型② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち 25 %以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者

類型③ 本邦における行動に関し外国政府等の指示又は依頼を受ける者

### 【個人情報の取り扱いについて】

本申告書で取得した情報は、外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施及び弊所内の適正な業務遂行のために、以下の用途にのみ使用します。

- 外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施。具体的には、特定類型該当者に対する技術提供の管理。この際、特定類型該当者であるという情報が「特定類型該当者に対する技術提供を管理する者」へ提供されます。なお「特定類型該当者に対する技術提供を管理する者」には、弊所外部（研究連携の相手方等）の者も含まれます。経済産業省への許可申請が必要になる場合には、特定類型該当者であるという情報が、経済産業省へ提供されます。
- 弊所内部での適正な業務遂行に必要な対応。具体的には、特定類型該当性の法的判断、兼業申請等との整合性の確認、みなし輸出管理が困難な場合の対応等。この際、特定類型該当性に関する情報が弊所内部の関係部署等へ提供されることがあります。
- 申告書は、弊所規程に則り保存期間満了後に除却致します。

以上

産総研技術研修員(リサーチアシスタント、連携大学院生等)として産総研 ID を持っている方のみ提出

#### ④産総研受入責任者の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
イノベーション人材部長 加藤 一実 殿

所属ユニット:

氏名(署名):

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する 2022 年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名:

以上

## ⑤所属機関の指導教員の承諾書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
イノベーション人材部長 加藤 一実 殿

所属機関:

役職名:

氏名(署名):

\*連絡先(直通電話番号):

\*メールアドレス:

\*スクール講義・行事中の有事の際や修了後のフォローアップ等で連絡させていただくことがあります。

下記応募者が、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが実施する 2022 年度研究基礎力育成コースに応募すること、及び、同コースの講義・演習や各種行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加することを承諾いたします。

記

応募者氏名:

以上

## ⑥誓約書

年 月 日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

イノベーション人材部長 加藤 一実 殿

私は、国立研究開発法人産業技術総合研究所イノベーションスクールが開講する 2022 年度研究基礎力育成コースに応募するに当たり、下記のことを誓約致します。

1. 健康上など特段の事由のない限り、講義・演習及びイノベーションスクールが指定する行事(開講式、修了式、外部成果発表会、成長報告会)に参加いたします。
2. その他、イノベーションスクールの指示・指導又は決定に従います。

所属機関:

氏名(署名):

## ⑦肖像、個人情報及び著作物使用同意書

産総研イノベーションスクール（以下「スクール」といいます。）では、研修・行事、連絡、実績報告等スクールの運営を適切に行うため、選考・手続過程で取得した皆さまの個人情報（氏名・ふりがな・所属等）を、スクール事務局及び産総研関係部署が使用するだけでなく、外部講師、他のスクール生・その指導担当者等に示すことが必要となります。

また、スクールの行う研修・行事の様子を広く一般の方々にお知らせし、スクールへの理解を深めていただくために、公式ホームページ・SNS、パンフレット、チラシ、メールニュースといった媒体により広報活動を行っており、皆さまの肖像（個人を特定できる写真・動画）、個人情報（氏名・ふりがな・所属）及び著作物（スクールの広報活動への使用を目的とした原稿等）をこれらの媒体に載せていくことがあります。

つきましては、使用目的、方法及び範囲<sup>(注1)</sup>をご理解のうえ、「肖像、個人情報及び著作物使用同意書」をご提出いただきたく何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

肖像、個人情報及び著作物使用同意書			
産総研イノベーション人材部長 殿			
私の肖像、個人情報及び著作物の使用に係る同意に関しては、以下の通りです。			
	同意する	同意しない	下記項目について、左の「同意」欄のいずれかにチェックをお願いいたします
運営目的			選考・手続過程で取得した個人情報 運営のためにスクール事務局及び産総研関係部署が使用するほか、研修・行事に関連して、氏名・ふりがな・所属、産総研個人ID、メールアドレスを他のスクール生・その指導担当者、外部講師・その所属機関その他の者に示すこと
			肖像 <sup>(注2)</sup> 写真、動画（個人を特定できるもの）
広報目的			氏名・ふりがな
			所属 所属ユニット及び大学・研究科・専攻・課程の名称 スクールの在籍期・在籍年度
			著作物 <sup>(注3)</sup> 広報目的でスクールに提出・提供する原稿等
本同意書提出後に、掲載、使用・提供について削除や留保したいとのご希望がある場合は、スクール事務局までご連絡ください。但し、印刷物（紙媒体）となっているときには、直ちに応じられないことがありますのでご了承ください。			
〔連絡先〕 産総研イノベーションスクール事務局 E-mail: <a href="mailto:school-jimukyoku-ml@aist.go.jp">school-jimukyoku-ml@aist.go.jp</a>			
(注1) スクール事務局が、スクールの運営及び広報目的で、スクール事務局の認める媒体により地域や期間の制限なく無償で、肖像・個人情報・著作物を使用・第三者に提供することの同意となります。目的外で使用・提供する場合には、別途、同意をいただくものとします。			
(注2) スクールの研修・行事中にスクール事務局又はスクール事務局の認める者が撮影した写真・動画を使用・編集することの同意となります。			
(注3) 全ての著作権（著作権法第21条から第28条までの権利）をスクール事務局に移転することの同意となります。著作者人格権（著作権法第18条から第20条までの権利）は不行使とさせていただきたくご了承ください。			
氏名（署名）：		日付：	年 月 日
所属：			